

みんなでつなぐ

ダム水源地ネット

2001.8月号

8

散歩道
大雪の自然と水資源の大切さ

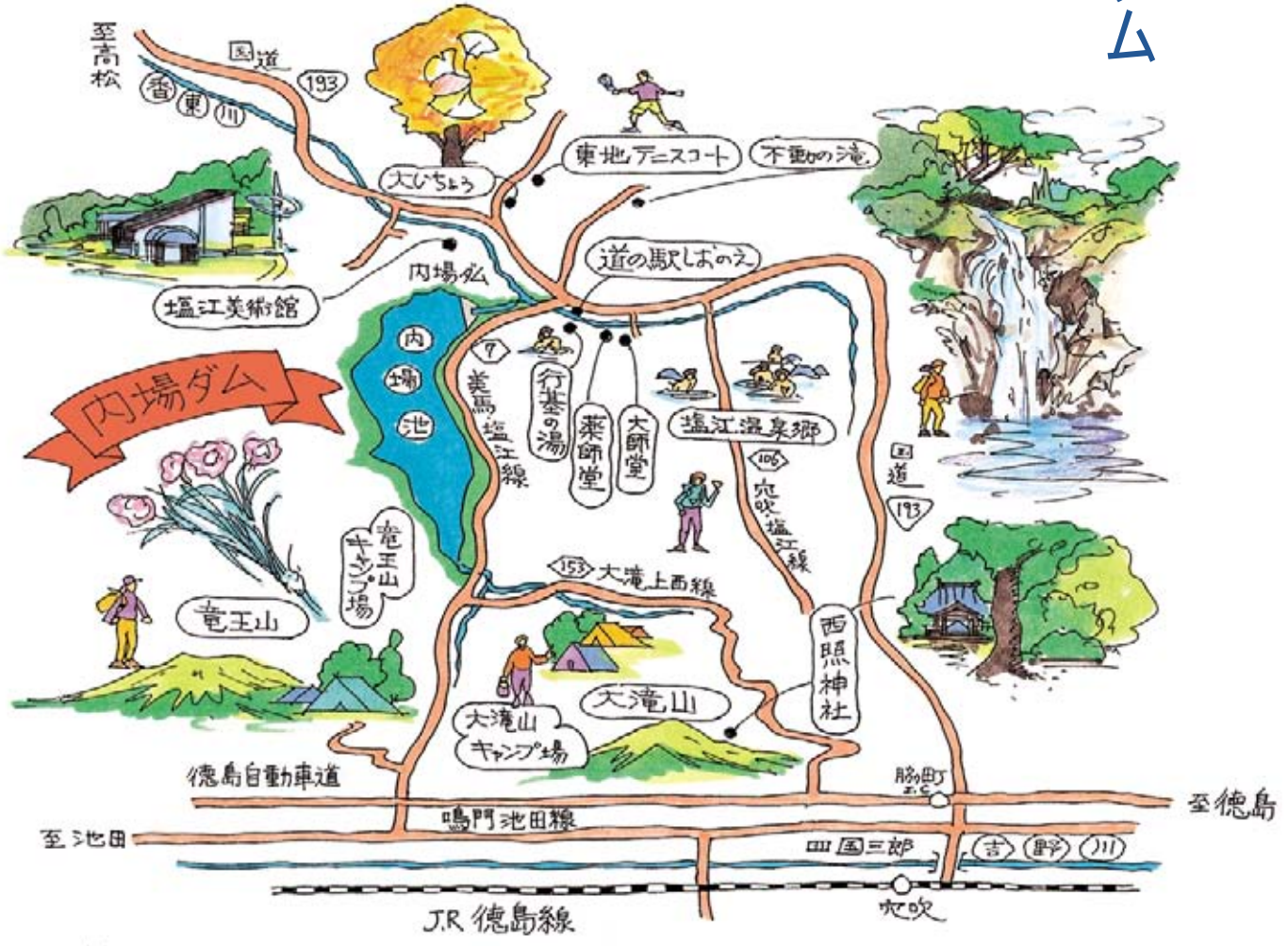
こちらダム水源地
「タキタロウまつり」で自然満喫 ほか

地域活性化レポート
洪水の思い出を地域発展のポイントに変えて

情報ホットライン
雨量、水位等リアルタイムの河川情報の国民への提供

内場ダム

塩江温泉郷を有する歴史あるダム



目次

今月の水源地

内場ダム

塩江温泉郷を有する歴史あるダム—— 2

今月の行事 —— 4

散歩道(バセオ)

大雪の自然と水資源の大切さ 鈴木文雄 —— 5

ワンポイント・ゼミナー

IT技術を活用した
わかりやすいダム情報の提供の試み —— 6

こちらダム水源地

「タキタロウまつり」で自然満喫 —— 8

「水道週間・親子水道施設めぐり」開催 —— 9

「のむらダムまつり」開催 —— 10

小学生のダム見学会 —— 11

地域活性化レポート

洪水の思い出を
地域発展のポイントに変えて —— 12

情報ホットライン

雨量、水位等リアルタイムの
河川情報の国民への提供 —— 14

トピックス —— 16

〔今月の表紙〕

内場ダム 夏の風物詩
ダム湖畔の夜空を彩る花火

編集事務局：財団法人 ダム水源地環境整備センター ダム広報センター

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町2-14-2

TEL 03-3263-9051 FAX 03-3263-9085

http://www.wec.or.jp/

E-mail:koho@wec.or.jp

塩江町は、香川県のほぼ中央部最南端、徳島県との県境に位置する山間の町で、面積は約80km²、人口約36000人の自然豊かな町です。

本町の内場ダムの築造気運は古く、記録に明らかなものは明治20年頃です。その後、明治から大正にかけて基本計画へと移り、昭和7年に内場池期成同盟会が発足。昭和13年、ついに池築造が本決まり。戦争激化の時代を経て、同28年3月に全工事の完成。同年7月12日の完工式へ至るまで、明治、大正、昭和の三代にわたる懸案の大工事が完成しました。

町内を流れる香東川(二級河川)の治水、河川環境の保全、かんがい、高松市民の水道水などの多目的ダムとして、周囲6500m、総貯水量817万5000tと、県内でも大きなダムとなっています。

また、本町は県内唯一の歴史ある温泉(今から約1250年前

行基の発見)を有しており、年間約60万人の観光客が訪れる地域です。塩江温泉郷の銭湯とした「行基の湯」や各宿泊施設の露天風呂など、日帰りでも気兼ねなく入浴することができます。さらに、県立自然公園として大滝山や竜王山など、自然とふれあえる施設が整い、県内外から多くの自然派志向の人々が訪れにぎわいをみせています。

最近、多くの観光客は余暇時間の増加に伴い、ダムでのバス釣りや周辺の散策など、自ら遊びを選択しています。今後は、ホテルや川遊びなど自然を活用した魅力ある塩江ならではの観光地形成を目指しています。是非一度、塩江温泉郷へお越しください。

塩江町のおみやげ
塩江町のイベント
交通

ばいしん(薬味)、お茶、竹細工、漬物
桜まつり、ホテルまつり、温泉まつり、アドベンチャーマラソン全国大会、もみじまつり
JR高松駅からコトデンバス「塩江・穴吹行き」で50分、塩江バス停下車。
高松自動車道「高松西IC」を経て国道193号を車で南下、約35分。

塩江町産業観光課 赤松 正己
(☎)087-8970131

8月

《北海道》

28日(火)/留萌ダム見学会(場所:北海道留萌市留萌ダム)
主催/留萌ダム建設事業所【☎0164-42-5831】
内容/地元小学生に建設中の留萌ダム等を見学してもらい、ダム事業の理解を深めてもらう。

《関東》

7月7日(土)~11月30日(金)/2002年(第4回)「日本水大賞」募集
(場所:東京都千代田区科学技術館)主催/日本水大賞顕彰制度委員会 内容/全国の水環境、水資源、水文化、水防災などの分野における研究・技術活動及び諸活動が対象。14年6~7月表彰式。(予定)【(株)日本河川協会 高原、館澤、紀陸☎03-3238-9771
<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>】

15日(水)/草木湖まつり(場所:群馬県東村)主催/同実行委員会
内容/郷土芸能、歌謡ショー、花火大会、草木ダム見学会【東村観光課☎0277-97-2888】

18日(土)・19日(日)/みやがせで遊ぼう(場所:神奈川県宮ヶ瀬遊園地)主催/宮ヶ瀬財団【☎046-288-3600】
内容/宮ヶ瀬ダム周辺での親子の各種イベント。申込み終了。

20日(月)~22日(水)/ハツ場ダム上下流交流(千葉県)(場所:群馬県長野原町立第一小学校)主催/千葉県上下流交流実行委員会【千葉県水政課☎043-223-2273】内容/千葉県の小学生約40名が、長野原町を訪れ、地元の生徒と2泊3日の交流を行う。

22日(水)・23日(木)/東京の水情報ウォッチング(場所:東京都庁、三郷浄水場、水の科学館、等)主催/利根川水系上下流交流実行委員会内容/小学4~6年生とその保護者20組みで群馬県の皆さんと、水関連施設を見学、等。【都市計画総合計画部都市整備室☎03-5388-3230】

23日(木)~24日(金)/水源わくわくセミナー(埼玉県)(場所:群馬県長野原町立東中学校)主催/埼玉県、埼玉県企業局内容/埼玉県の小学生とその保護者が、長野原町を訪れ、地元の小・中学生とサッカー交流を行う。【埼玉県水政策課☎048-830-2247】

24日(金)・25日(土)/夏休み水のふるさと体験(場所:群馬県下久保ダム、神流川発電所・おにし野外活動センター、等)主催/利根川水系上下流交流実行委員会 内容/小学生とその保護者120名で、東京から群馬への訪問などを行う。【都市計画総合計画部都市整備室☎03-5388-3230】

26日(日)/第44回「藤原ダム完成記念」藤原湖一周マラソン大会(場所:群馬県水上町藤原湖運動広場)主催/水上町【観光商工課☎0278-72-2111】

《中部》

23日(木)/岩屋ダムサマー体験学習会(場所:岐阜県金山町)主催/岩屋ダム管理所【☎0576-35-2339】
内容/地元小学生を対象にダム登頂、堤体内見学。

25日(土)/スターフェスティバル 2001 in ふじはし(場所:岐阜県藤橋村)主催/藤橋村教育委員会【☎0585-52-2111】
内容/星の素晴らしさを提供し、各種イベントを開催。藤橋村には横山ダムがある。

《近畿》

19日(日)/吉野川源流水源地の森林探検隊(場所:奈良県川上村吉野川源流紀ノ川)主催/同実行委員会 内容/水源の問題はその源にある川上だけの問題ではなく、川下の都市に住む人々と関連した事柄として共に考え、開催。【川上村役場企画財政課☎07465-2-9345】
川上村では大滝ダムを建設中。

25日(土)/水上のコンサート天空響鼓2001(場所:兵庫県三田市青野ダム水上ステージ)主催/三田市【☎0795-59-5022】内容/水上ステージでのコンサート。

《中国》

17日(金)/緑水湖花火大会(場所:鳥取県西伯町)内容/緑水湖(賀祥ダム)周辺で花火大会(2000発)を実施。【西伯町商工会☎0859-66-5111】

25日(土)/千代川フェスティバル2001(場所:鳥取県智頭町)主催/千代川流域圏会議 内容/千代川流域圏会議によるイベントの開催。【殿ダム工事事務所☎0857-29-9570】

《四国》

16日(木)/水源地見学ツアー(場所:高知県仁淀村)主催/大渡ダム・仁淀村・香川県自転車競技連盟 内容/仁淀村で行われる最大のイベントである「茶霧湖まつり」の日に合わせ大渡ダムの見学を含めまつりの見学を行う。【大渡ダム管理所☎0889-32-2120】

下旬/早明浦湖水祭子供交換会(場所:高知県嶺北5ヶ町)主催/同実行委員会 内容/香川県の小学生を招き、1泊2日で水源地(嶺北5ヶ町村)の小学生と一緒に林間学校を通じ、カヌー・山遊び、早明浦ダム施設見学等、交歓会を行う。【高知県土佐町企画振興課☎0887-82-2450】

《九州》

25日(土)・26日(日)/水辺の楽校(場所:鹿児島県鶴田町、神子、川内川)主催/同実行委員会【鶴田町企画課☎0996-59-3111・商工会☎59-2113】内容/25日カヌー大会、ドラゴンボート体験試乗会。26日、ドラゴンボート大会。鶴田町には鶴田ダムがある。

17日(金)/夏の球磨川流域こども交流会(ボクらはワンパクかわべっ子)(場所:熊本県相良村柳瀬)主催/川辺川工事事務所、林野庁熊本南部森林管理所【調査設計課☎0966-23-3174】内容/球磨川流域の小学生対象の交流会。自然の観察・森林教室・工作教室、等。

《沖縄》

26日(日)/福地ダム夏休み自然体験会(場所:沖縄県東村福地ダム周辺)主催/同実行委員会 内容/ダム周辺でカヌー体験、湖面遊覧、玉辻山散策(予定)等の催しを行い、森と湖に親しむ機会を提供する。【東村企画課☎0980-43-2201】

9月

《東北》

10日(月)/田沢川ダム竣工式(場所:山形県平田町)主催/山形県内容/修祓式、竣工式典、祝賀会、等。【田沢川ダム建設事務所☎0234-54-2875】

《関東》

9日(日)/かっぱ大祭(場所:栃木県湯西川温泉駅前広場)主催/同実行委員会 内容/湯西川ダム資料展示、ステージショー、地元青年団・婦人会による模擬店、等。【栗山村役場企画課☎0288-97-1113】

上旬/「水のふるさと展」ハツ場ダムPR(場所:埼玉県JR大宮駅)主催/国土交通省ハツ場ダム工事事務所【調査設計課☎0279-82-3477】内容/ハツ場ダムの受益者である埼玉県民に対し、ハツ場ダム及び水源地・長野原町のPRを行う。

《中部》

6日(木)/余地ダム定礎式(場所:長野県佐久町)主催/佐久町・余地ダム建設促進期成同盟会 内容/余地ダム本体工事定礎式。【長野県白田建設事務所☎0267-82-8274】

大雪の自然と水資源の大切さ

鈴木 文雄

北海道 上川町長



「ヌタクカムウシユベ」(川の回流する所に立っている山)大雪山は昔 人々にそう呼ばれていた。

大雪山は神の住むところといわれ、人間の侵すべからざる山と称えられ、夏でも驚くほどの残雪と高山植物に彩られた湿原の神秘的な美しさは、他に類を見ません。

この大雪山国立公園の玄関口に位置する上川町は、四方が山岳に囲まれ総面積が1049km²と全国市町村中8番目の広大な面積を有しています。国有林等林野率は95%を占め貴重な森林資源となっています。

緑豊かな恵まれた自然環境の中で、大雪山国立公園を代表する「層雲峡温泉」が全国的に知られるところであります。

大雪の泉を源に北海道の母なる川「石狩川」の上流地域層雲峡温泉奥に昭和50年、大雪ダムが竣工され、洪水被害の軽減、かんがい用水、電源の供給、上水道用水の確保など地域住民の生活基盤を確立するための重要な役割を果たしております。正に石狩川の水の銀行であり四季のリズムを上手にコントロールしてくれています。

大雪の自然は「山・森・水」の一つひとつが

共生しい、そこで生活する私たちにとっては貴重な財産であります。特に「水」は、天を割って落下する滝のごう転の音、岩肌からまかり出る湧き水の小さなせせらぎの音などさまざま



な音色を心に響かせてくれます。加えて観て楽しむ利用して親しむことも出来ます。水は素晴らしい資源であり今後も大切にしていきたいと考えています。

IT技術を活用した わかりやすいダム情報の提供の試み

財団法人ダム水源地環境整備センター 研究第一部

1 はじめに

最近のIT技術の進展は、産業構造や私たちの生活にたいへん大きな変化を与えています。洪水の被害を防いだり、水資源を確保するためのダムの管理にもIT技術を利用して、さらに、その有効性や安全性を高めることが期待されています。

ダム管理や河川情報の提供などへのIT技術の活用は、その緒についたところですが、ここでは、国土交通省中部地方整備局の矢作ダム^{やはせ}を例に、実際に行われているダム管理へのIT技術の利用事例を紹介します。

2 矢作ダムについて

矢作川は、中央アルプスの南端に源を発し、愛知県の真ん中を東西に分けて流れ、三河湾に注ぐ、長さ117kmの三河地方随一の大川です。

矢作ダムはその上流に位置し、洪水調節、農業用水、工業用水、上水道と発電を目的とする多目的ダムです。ダムの大きさは、高さ100m

堤頂の長さ323m、有効貯水容量は6500万³mで名古屋ドームの約52個分もあります。

3 矢作ダムでのIT技術の活用の経緯

平成12年9月に、未曾有の豪雨のため矢作川流域で大きな水害が発生しました。

中部地方整備局および矢作ダム管理所では、この水害の経験を踏まえて、日常からのよりわかりやすいダム情報の提供や、大雨の時の情報伝達方法について、沿川市町村や県、電力会社等と意見交換を行い次のような取り組みを行っています。

4 矢作ダムでのIT技術の活用の取り組み

(1) 監視体制の強化

ダムの放流状況や河川の状況を監視するカメラや情報表示板を設置し、沿川市町村および住民に対してダム情報や映像を伝送するための光ファイバーケーブルを整備しています。

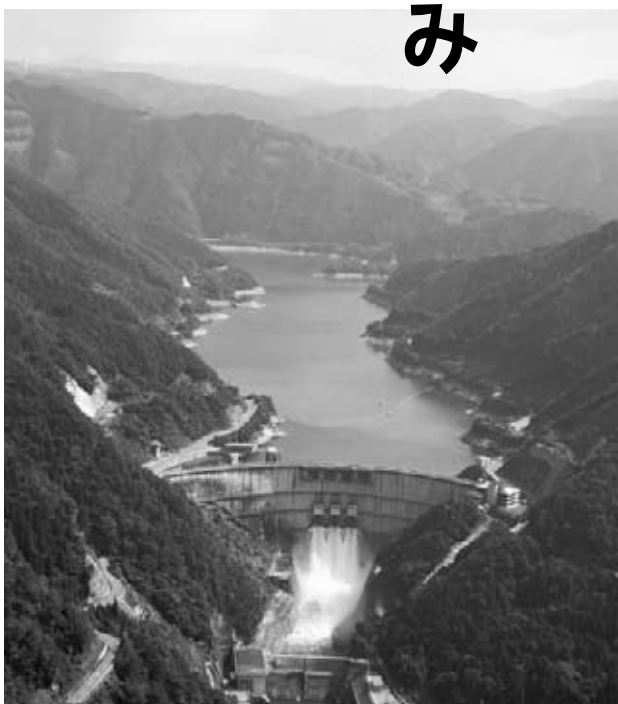
(2) 情報提供の充実

大雨のときには、ダムの放流状況や河川の出水状況などの画像をはじめ、雨量やダム水位、流入量などのダム情報を、リアルタイムで沿川市町村に配信することも、平常時においてもダム情報だけでなく、各種イベント情報等の広報としても活用できるように整備を進めています。(イメージ図として図 1)

(3) 現地での水位情報の提供

愛知県では、大雨の時に河川監視用カメラで水位情報を提供する方法の一つとして河川内の橋脚に水位標をマーキングする予定です。

矢作川の整備計画の全体像を図 2に示します。



矢作ダム

5 まとめ

IT技術は、ダム監視体制の強化や情報提供の充実などに実際に利用されはじめています。

国土交通省では、iモードやインターネットを利用して、レーダー雨量や降雨量、水位などの情報をリアルタイムで一般の方々に、6月1日より配信しているところです。

今後は、インターネットや携帯電話、情報表示板、ケーブルテレビなど、多くの手段を利用して、日常からダムの情報（雨の量、貯水池の水位、現在の放流量、映像情報、イベント・観光情報など）を全国のダムで、わかりやすく提供することが期待され、そのためのさまざまな取り組みがなされています。

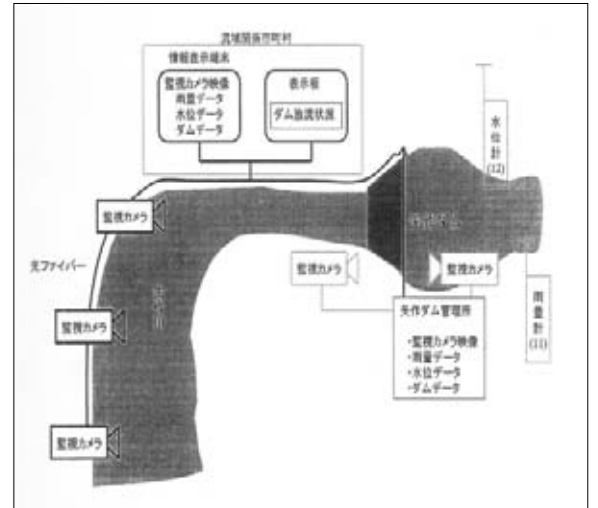


図 - 1 矢作川における河川情報の提供イメージ図

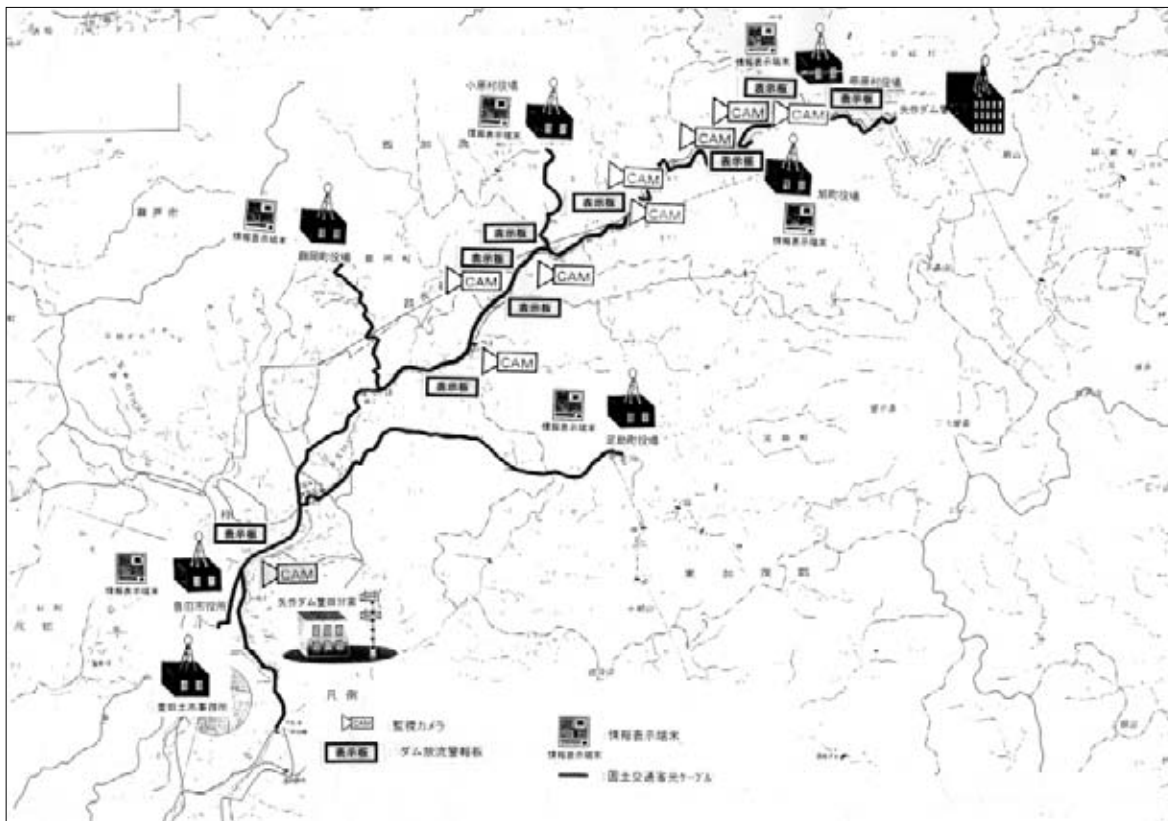


図 - 2 整備計画の全体像



「タキタロウまつり」で自然満喫 森と湖に親しむ旬間行事に併せ開催

代に建設されました。

5月27日、晴天の下、荒沢ダム湖畔広場を会場に、「第16回タキタロウまつり」が「森と湖に親しむ旬間」行事と共催で行われました。

このまつりは、地域住民と地元大学のボランティアサークルや村職員がスタッフとなり、毎年朝日連峰の大鳥登山口の山開き安全祈願祭に併せて行われています。

ステージでは子どもたちの歌や太鼓の演奏、テント村では地元特産品の販売、川原ではアウトドアに親しむためのさまざまなスクールを開催し、子どもから高齢者まで幅広く、家族全員が1日楽しく過ごせるイベントです。

ダム湖面では、カヌースクールや遊覧船が人気です。湖面に映える新緑を楽しみに参加される方も多いようです。子どもたちには、イワナのつかみ取りに人気があります。雪解けの冷たい水も何のその、水着一枚で川の中を走り回り、石の下に隠れたイワナを捕まえては、歓声を上げています。

また、「森と湖に親しむ旬間」行事



地元の子どもたちによる太鼓と歌



東京・墨田区の方々による「あそぼうパンコーナー」



子どもたちに人気の「イワナのつかみ取り」



「ダム湖遊覧」は家族連れに人気

では、普段見学することのできない荒沢ダム監査廊の探検を実施しました。探検に参加された方からは、汗だくになりながらも、「ダム管理の一面を見ることができた」「ダムについて勉強できた」等、主催者としてはうれしい声を聞くことができました。今後も、「タキタロウまつり」を通して、荒沢ダムや朝日村をPRしていきたいと考えております。

山形県朝日村企画課 商工観光係
清野 たえ



布部ダム
島根県

「水道週間・親子水道施設めぐり」開催 ダムと浄水場に見学一日

6月10日、島根県松江市水道局では、水道への関心と理解を深めてもらうため、水道週間で行う行事のひとつとして、親子水道施設めぐりを実施しました。この行事は、平成10年度から行っており、今回で4回目となります。

参加者は、社会科の授業で水道について学習している、地元の小学校4年生とその保護者など40名（内子ども19名）、バス1台で出発しました。見学先は松江市水道局の忌部浄水場と県営布部ダムです。

忌部浄水場では、ダムから取り入れた水がきれいになる過程を学習しました。雨



布部ダムの放水



忌部浄水場を見学

や雪が、森の土の中にたくわえられ川になり、ダムに溜まります。そして、さまざまな過程を通し沈でん池という池に入り、砂やゴミなどを沈みやすいかたまりにします。さらに、緩速ろ過池で、きれいな砂の間を通し、汚れやばい菌などが取り除かれます。ろ過スピードは、1日かかって4m〜5mと非常にゆっくりと行われ、きれいな水ができます。そのようにしてできた水を飲んでもらったところ、皆さんから「おいしい、おいしい」と言う感想をいただきました。

その後、島根県広瀬町の飯梨川上流にある県営布部ダムに向かいました。やがて見えてきた布部ダムは子どもたちの想像以上にとても大きく、皆さんから大きな驚きの声が上がりました。

この布部ダムは、昭和39年着工、同43年完成で、洪水調節、水力発電、工業・上水道用水の供給と三つの働きを持つ多目的ダムです。

松江市では、昭和44年から日量1万tの用水の供給を受けています。

布部ダムでは、ダムの内部にある



布部ダム



辻原所長さんから布部ダムの説明をきく

監査廊を見学させてもらいました。暗く細長い廊下は子どもたちにとっては未知の空間で、興味と怖さが入り混ざった声がコンクリートの壁に響き渡っていました。

説明をしてくださった所長さんや職員の方々に感謝しつつ、施設めぐりを終了しました。参加者は、水や水道の仕組み、ダムの役割などがよく理解できたと好評でした。

松江市水道局 総務課
錦織 宏



「のむらダムまつり」開催 朝霧湖での多彩なイベント

昭和34年、愛媛県肱川下流域に鹿野川ダムが完成し、洪水の被害は以前に比べると減ったものの、まだ充分とはいえませんでした。

一方、宇和島市、八幡浜市などの南予地区海岸部は、山が海にせまっております。平野の少ない地形で、大きな河川もないため、毎年のように水不足に悩まされてきました。

そこで、肱川上流に洪水調節と、かんがい、利水補給を目的とする野村ダムが昭和57年に完成しました。

当野村町で行われる三大祭りとしての、「のむらダムまつり」と「納涼花火大会」は、この野村ダムを会場として毎年開催されています。

なかでも、5月の「のむらダムまつり」は、西日本でも有数の整備を誇る、花と緑と豊かな水に満ちた美しい朝霧湖（野村ダム）上に、約180匹の勇壮に泳ぐ鯉のぼりを架け渡します。町民手作りのイベントとして、子どもたちの健やかな成長を願い、ふれあいの場を提供しています。また、南予一円の生活用水・農業用水の利水補給地域住民の方々と限りある水資源の大切さを理解し地

域の活性化を図るとともに、都市との交流の場を作り、健康づくり体力づくりの一環として、「朝霧湖マラソン大会」を開催しています。「のむらダムまつり」で行われる主な行事としては、



成長祈願祭



子ども相撲大会



朝霧湖マラソン大会
「増田明美さん」をゲストランナーに迎えて



ダム左岸より会場を望む

- (1) 朝霧湖マラソン大会
 - (2) 子ども相撲大会
 - (3) 子ども写生大会
 - (4) 子どもゲーム大会
 - (5) ふれあい市及びバザー
 - (6) 謝肉祭（サーロインステーキ）
 - (7) 成長祈願・駒吉感謝祭
 - (8) 水上ステージイベント（ビンゴ他）
などが挙げられます。
- 平成12年には、この他に釣り大会と参加者全員を対象としたお楽しみ抽選会も実施しました。それぞれ好評をいただき、今後もよりいっそう工夫を凝らし地域の交流を深めていきたいと考えています。

愛媛県まちづくり推進課 観光係長
大田 好孝



じんや
陣屋ダム
福岡県

小学生のダム見学会 ダムの大切さを実感

陣屋ダムは、福岡県自慢のひとつでもあり修験道としても有名な英彦山の麓あたりに位置し、全国版の地図には載らないようなそれはそれは小さなダムです。しかし、そんな陣屋ダムにも英彦山麓の田川地区から小学生たちがワイワイと水の大切さを学ぶため見学に見えます。

訪れるのは地元の小学校の4年生の皆さんです。ちょうど社会科の授

業で「私たちの生活水」という項目を勉強している時期らしく、多くの生徒がダムのことを予習して来ているようです。「堤高48

m」、「堤長205m」。答えられる子どもの多さにびっくりさせられます。

しかし、数字では分かっても実際のダムの大きさに、「大きい」「高い」と驚きの声が上がります。実際は福岡県下でも1、2を争う小さなダムですが、「ここで、「どうだ、ダムは

大きいだろう?」ときくと、みんな「うん、大きい」と答えてくれ、一時ながら優越感に浸ることができま

す。この無邪気な子どもたちを洪水から守らねばならぬという強い使命感を感じずにはいられません。そのよ

うな思いを抱きながら、ダムの役割について説明を行いました。

「水を貯めておくこと」「洪水を防ぐこと」。このダムの大きな役目を二

つ説明しますが、前者は子どもたちも感覚的に分かりやすく、内容を理

解してくれま

す。問題は後者の「洪水を防ぐこと」です。子どもたちはこのことについては全く知らないで、じっくり時間をかけて説明します。なんとか理解してくれた子どもたちは「ダムは洪水を防ぐ」を単語として覚えて帰ります。自分の知らないダムの役目を知った子どもたちは、より一層ダムの大切さをかみしめていくようでした。先生たちには説明が分かりやすいと大好評です。

ダム見学は年々増加している傾向です。これからは、小学生だけでなくいろいろな年齢層の方に見学に来ていただき、ダムの大切さをしっかりと理解していただけるように頑張っていく

陣屋ダムのことは、はじめは、ぜんぜん知りませんでした。

でも、はなしをしてくれた人は、わかりやすくおしえてくれたので、陣屋ダムのいろいろなことがわかりました。ダムは、なぜつくられたのか、ダムはどれくらい大きいのか、はたらいっている人の人数、ダムのやくめがわかったので、とてもうれしかったです。あと、ダムをつくっていたころ事人がしごとをしていると中に2人なくなったと言ったので、かわいそうと思いました。これから、いろいろなこともあると思うけど、がんばってください。

4年2組 上村 けんと



たくさん
の虫が
見られる
陣屋
ダム
直下
流



うわ～、でかい!! 驚愕する子どもたち

陣屋ダム管理出張所長
上島 勇助

洪水の思い出を 地域発展のポイントに変えて



宮崎県高岡町
農林商工課長

岩崎 健一

宮崎県高岡町は、人口約13000人の純農村、県都宮崎市に隣接した町です。

心豊かな元気なまち「たかおか」の創造を目指しています。

瓜田ダムは、その昔から大雨の都度瓜田川の氾濫による冠水を余儀なくされた小山田、麓の2集落の人々の生活と農業を水害から守るための治水ダムとして、宮崎県により築造されたものです。また河川環境の保全としての目的も持ちあわせたもので、堤高42m、堤頂長160m、総貯水容量72万m³の重力式コンクリートダムです。

高岡町は、慶長5年（西暦1600年）9月15日、関ヶ原の合戦に西軍に属して戦に敗れた島津義弘が、関ヶ原を突破し、堺から舟で細島に上陸、陸路、高岡を経由して鹿児島に帰る途中、重要な拠点として高岡郷を創設したのがその起源です。

その後、島津の要衝として栄えてきましたが、昭和30年、町村合併促進法に基づいて、瓜田ダムが位置する旧^{むか}移佐村と対等合併し、新生高岡町として現在に至りました。

位置としては、東は県都宮崎県に接し、東西15km、南北13km、総面積約14.5km²、最高454mの丘陵山系に囲まれ、約7割が山村で占められています。遠く、霧島山系に源を発した一級河川大淀川が、町内で瓜田川と数本の支川に分岐していますが、その分岐点が大淀川の河口と、標高差約5mと小さいため、瓜田川中流域が水害の常襲地帯となっていました。

そのため、地域住民は、古くから国や県に対して、大淀川の築堤と安定した水が流れる治水のためのダム建設を要望してきました。瓜田ダムは、昭和44年度から宮崎県による予備調査が開始され、平成4年12月工事着工、同10年6月に竣工したものです。



瓜田ダム全景

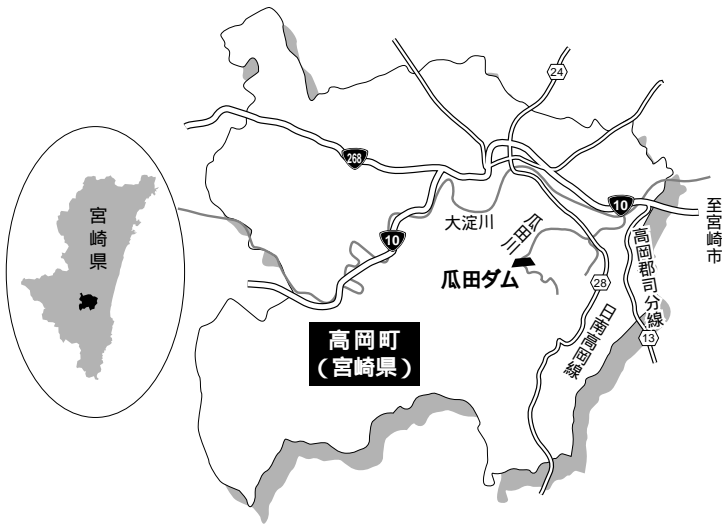
純農村であり、古くからみかんの町として栄えてきましたが、価格の低迷と共に、その栽培形態も施設農業、集約農業と様変わりし、現在は野菜を中心とした農業へと変貌しています。町では、そのような状況の中で農業への諸施策を講じ振興を図っていますが、担い手不足、高齢化のあおりを受け、その推進は思つにまかせないのが実状です。

瓜田ダムの建設は、観光面での整備構想、ダム湖を中心とした周辺整備等に非常に大きな可能性を持ち合わせていました。

瓜田ダム計画の時点で宮崎県からダムの排土処理についての相談があり、発生する排土の捨て場を町で準備し、その埋立地が約4万m²できあがりしました。整備計画とその可能性を探ると共に、時、あたかも温泉ブームということでの地の利や、自然のまっただ中を目玉として、湯

源を求めボーリングを開始したところ、約100mの地下から温泉が湧出しました。これと時を同じくして、町の活性化の方策を模索するため、役場の若手職員によるプロジェクトを設置し、財政、利活用、管理運営面の3部門について、あらゆる角度から検討の結果、具体的整備計画がスタートいたしました。

瓜田ダム湖周辺整備計画推進の核が出来たことにより、計画はより前進しました。約10億円を投資した温泉施設「やすらぎの郷」は完成しましたが、これを地域興しの拠点として活用していくためには、他の観光ポイントとの連携、基幹産業である農業との結びつき、町民生活の



温泉施設「やすらぎの郷」



安定向上への連動が不可決であり、点ではなく面的に各施策を展開することが重要と考えています。

大雨の都度、住民の生命、財産、生活の基盤を脅かし続けた瓜田川に、人間の叡智と最新の土木技術をもって完成した治水ダムの出現により、新たな局面が拓かれました。

今後は、高岡町の活性化の拠点、町民憩いの場、また都市との交流の場として最大限の利活用を図っていかなくてはなりません。

県都宮崎市から車で約10分、大自然のまつた
 だ中、河鹿が鳴き、せみしぐれ、ホテルの乱舞
 が身近な豊かな自然の恵みをも活用しながら、
 より愛されるまちづくりを目指します。



雨量、水位等 リアルタイムの河川情報の国民への提供

国土交通省 河川局河川計画課 河川情報対策室
課長補佐

岩見 洋一

国土交通省では、平成13年6月1日より、インターネット、iモード等により、大雨、豪雨時の「雨量」、「水位」等をリアルタイムに一般へ提供することを開始しました。

インターネット：

<http://www.river.go.jp>

iモード等：

<http://i.river.go.jp>

近年、集中豪雨等により、水害や土砂災害が頻発しております。昨年も人口・資産の集中する名古屋において大規模な浸水被害が発生しました。このような被害を軽減するためには、河川改修等のハード対策と併せて、一般国民に対して降雨や河川の水位の状況等を迅速に提供し、被害軽減のための行動に役立てて頂くことが重要です。具体的には、マスコミを通じた情報提供はもとより、進展するITを活用し、誰もが利用しやすいインターネット、iモード等の携帯端末により、いつでもどこでもリアルタイム（現時点）での河川に関する情報を入力で

きるようにすることが有効と考えます。


インターネットでは、レーダ雨量計が捉えた全国の雨を最高5kmメッシュで表示するとともに、全国で約1,800箇所の上雨雨量、約1,000箇所の水位情報をそれぞれ10分毎に最新データに更新し、わかりやすくグラフ等に表示するようにしております。また、水防警報や洪水予報が発令された際、直ちにその内容が表示されるようにしております。

一方、アウトドアにおいて有効と考えられる携帯端末においては、最高10kmメッシュのレーダ雨量情報の他、地上雨量、水位等の時間変化をわかりやすく並べて表示するようにしています。

本年6月下旬、九州で大雨がありました。多数のアクセスがありました。本システムが今後とも水害、水難の防止のために役立ちますよう、国民の皆様のご要望をお聞きしながら、さらにより情報提供ができるように工夫をしていきたいと考えております。

レーダ雨量図

05/21 更新
22:50 現在



現在

- 弱 1～9mm/時
- 並 10～29mm/時
- 強 30～49mm/時
- 極 50mm/時以上

レーダ履歴/全国

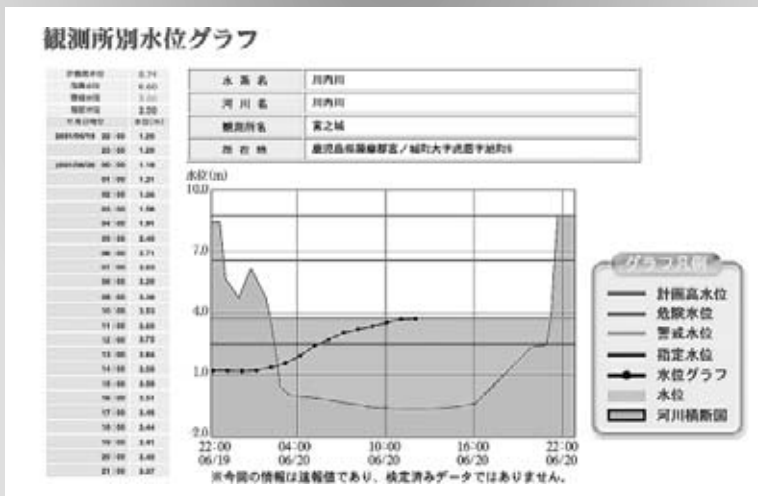
[画面先頭へ](#)
[前画面へ](#)
[メニュー/九州地方へ](#)
[河川情報メニューへ](#)

インターネット提供画面

レーダ雨量図



観測所別水位グラフ



iモード提供画面

観測所別テレメータ水位一覧

■観測所一覧/川内川水系(宮崎/鹿児島)

06/20 **更新**
4:30の更新情報

ご覧になりたい観測所をお選びください。※指定水位に達すると赤字で表示されます。

単位：m

- 川内川水系
- ↑真幸 0.40
- ↑吉松 2.24
- ↑栗野橋 1.66
- ↑湯之尾 0.79
- ↑花北 3.22
- ↑鈴之瀬 2.99
- ↑湯田 3.45
- ↑宮之城 3.15
- ↑倉野橋 3.78
- ↑斧淵 3.11
- ↑川内 1.21
- ↑上真幸 2.71
- ↑芋田 7.00

編集メモ

猛暑や雨不足が続くなかで、四国・中部に続き関東と、地域差がありますが、湯水になっています。スーパーに湯水コーナーが設置される等、広く節水の呼びかけがされています。

もともと河川の水量の変動が大きい上に、人間が使う水の量が多いため、水ガメは不可欠です。その水ガメがピンチになりつつあります。人々に潤いを与える森と湖です。ダム水源地に感謝しながら、湯水に当たって自分にできることを真剣に考えましょう。

ぐんまウォーターフェア開催

8月9日、群馬県水上町の観光会館で、群馬県の主催により「平成13年度ぐんまウォーターフェア」が開催。

この催しは、水や森林の大切さに對する住民の関心を高め理解を深めてもらうとともに、利根川を中心とした上下流の交流連携を促進することにより、流域としての一体感を形成することを目的として開催されている。

式典は10時から12時30分まで、水の作文コンクール表彰式と優秀作品（代表）の朗読、上流側、下流側代表生徒によるメッセージ交換の他、北野大氏（淑徳大学教授、工学博士）の講演会（テーマ/森と水の役割…入場無料）が行われた。また、招待参加者は、現地見学会として奈良俣ダムを見学した。

ふれあい少年少女キャンプ

7月14・15日、北海道様似町の様子に似たダムキャンプ場で、親しもう僕と私の様似ダム「ふれあい少年少女キャンプ大会」（第26回様似町子供会キャンプ大会）が開かれた。小中学生約160名と世話役の大人約40名、総勢約200人が参加した。

午前中は、開会式のあと、まず小中学生全員が様子ダムを見学し、ダムの役割などの説明を受けた。午後からは、「ダム」をテーマにしたクイズ大会や、大声コンテスト、カヌー、釣り、川遊びなどのプログラムが行われ、交流を深めた。



吉野川スポーツ交流大会

7月1日、高知県嶺北地域で、平成8年度に制定された「川の日」の記念行事として始まった「川の日吉野川スポーツ交流大会」の第6回大会が、開催された。この大会は、スポーツを通じて吉野川の水源地域と受益地域である四国四県の人々が交流を深めるとともに、川や森・湖の大切さを再確認していただくことを目的として実施している。大会には各地域から約800人が参加、小学生によるソフトボール、バレーボー

ル大会、早明浦ダム湖で行われたEポート大会、今年の新種目としてソフトバレーボールが行われた。



野津ダムの竣工式

6月21日、大分県が一級河川大野川水系垣内川に建設を進めてきた野津ダムの竣工式が、行政、地元及び工事関係者等約150名の出席の



もとダムサイトで盛大に執り行われた。野津ダムは、垣内川の洪水調節、既得取水の安定化及び野津町の

水道水の供給を目的としたダムで総事業費は約65億円である。平成2年度に予備調査、翌3年度に建設事業着手して以来、約10年の歳月をかけて完成。当ダムの特徴は、堤体積3万m³を超えるダムとしては全国で2例目の生コンクリート打設方式を採用したダムである。

国土交通省河川局
渇水対策本部・取水制限

国土交通省では7月30日に渇水対策本部を設置し、各地方のダムの貯水状況等の情報収集・提供や関係機関との情報連絡を実施している。

8月9日現在で、関東、中部、近畿、四国の地方整備局において渇水対策本部が設置されており、取水制限が行われている河川は次の通りとなっている。

【関東】 渡良瀬川

【中部】 木曾川、豊川、矢作川、

天竜川、大井川

【四国】 吉野川

なお、関東の利根川では、同月10日より10%の取水制限に入る予定となっている。利根川から水を取っているのは、東京都・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の各都県。

（8月9日現在）